

2012年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2011年10月28日

NECキャピタルソリューション株式会社

リースの、

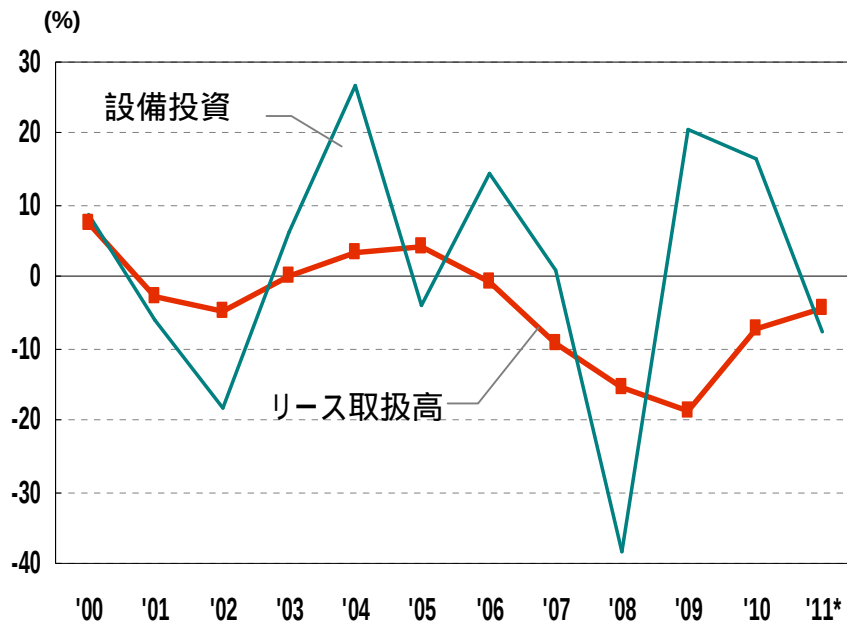
そのつぎへ

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

1) 事業環境

- 設備投資 : 09年にプラスに転じたものの、足下ではトーンダウン
- リース取扱高 : 39ヶ月連続前年割れが続いたが、下げ止まり傾向が鮮明に
- 倒産 : 総額では鎮静化したものの件数は横ばい

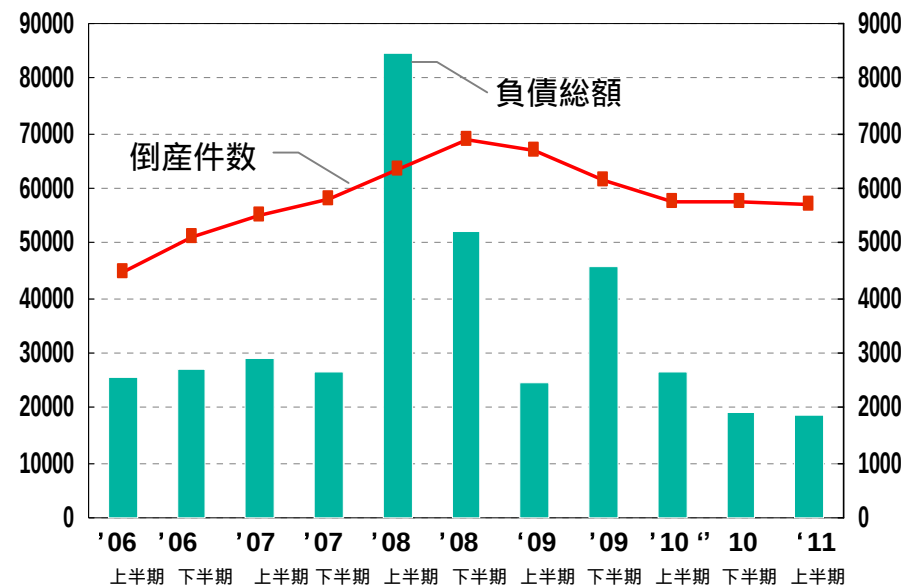
■ 設備投資およびリース取扱高の動向 (前年度比推移)



2011年度の値は、リース取扱高は4～9月の累計、設備投資は4～6月累計を使用

(社団法人リース事業協会:リース統計および財務省:法人企業統計より)

■ 倒産状況 (負債総額/件数)



(帝国データバンクHP:倒産集計より)

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

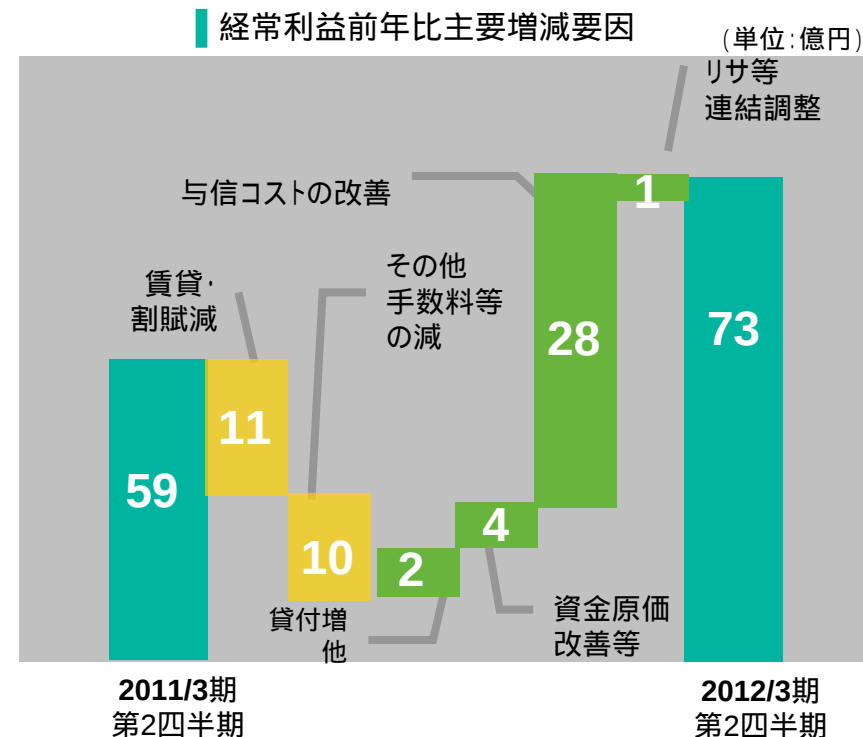
2) 業績概要(連結)

- 売上高 → 賃貸事業の減少により、前年同期比**3.5%**減
- 経常利益 → 資金原価、貸倒費用等の販管費が大きく減少し前年同期比**23.0%**増
- 自己資本比率 → リサ連結後もほぼ前年同期並み、**8.7%**

(単位: 億円)

	2011/3期 第2四半期 (RISA含まず)	2012/3期 第2四半期	前年増減
売上高	1,167	1,126	▲3.5%
営業利益	60	73	21.8%
経常利益	59	73	23.0%
四半期純利益	34	44	29.1%
1株当たり四半期純利益	159円79銭	206円26銭	-
営業資産残高	6,385	6,604	3.4%
純資産	620	764	23.3%
自己資本	620	656	5.8%
自己資本比率(%)	8.8	8.7	-
1株当たり中間配当金(円)	22	22	-

経常利益前年比主要増減要因



リサ・パートナーズは12月決算のため、リサ・パートナーズ第2四半期(1-6月分)との連結

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

3) 事業別収益(連結)

事業別収益

(単位:億円)

		2011/3期 第2四半期	2012/3期 第2四半期	前年同期比
貸貸・ 割賦事業	売上高	1,050	952	▲9.3%
	売上原価	924	836	▲9.4%
	資金原価	29	23	20.6%
	売上総利益	98	93	▲4.9%
営業貸付 事業	売上高	24	22	▲6.9%
	売上原価	-	-	-
	資金原価	1	3	▲136.9%
	売上総利益	23	20	▲13.8%
リサ 事業	売上高	-	77	-
	売上原価	-	44	-
	資金原価	-	8	-
	売上総利益	-	25	-
その他の 事業	売上高	93	75	▲19.1%
	売上原価	75	67	▲10.9%
	資金原価	-	-	-
	売上総利益	18	8	▲53.6%

<<貸貸・割賦事業>>

・新規契約実行高の減少を資金原価の改善でカバーし、前年同期比**4.9%**減にとどまる

<<営業貸付>>

・利息収入は増加したものの、手数料収入が減少し、前年同期比**13.8%**減

<<リサ事業>>

・個別では**25億円**の売上総利益を確保

<<その他の事業>>

・解約売上や手数料収入が減少したこと等により前年同期比**53.6%**減

短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いたベース

資金原価の改善はプラスにて表示

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

4) 事業別契約実行高の状況(連結)

■ 事業別契約実行高

(単位:億円)

	2011/3期 第 2 四 半 期	2012/3期 第 2 四 半 期	前年増減
賃貸・割賦事業	607	495	▲18.5%
賃貸事業	583	486	▲16.7%
割賦販売	24	9	▲60.5%
営業貸付事業	1,284	1,091	▲15.1%
営業貸付金	603	490	▲18.8%
一括ファクタリング	681	601	▲11.7%
その他の事業	10	12	22.5%
計	1,901	1,598	▲16.0%

■ 【参考】事業別成約高

(単位:億円)

	2011/3期 第 2 四 半 期	2012/3期 第 2 四 半 期	前年増減
賃貸・割賦事業	903	737	▲18.4%
賃貸事業	878	724	▲17.6%
割賦販売	24	13	▲45.8%
営業貸付事業	1,287	1,091	▲15.2%
営業貸付金	607	490	▲19.2%
一括ファクタリング	681	601	▲11.7%
その他の事業	13	11	▲11.3%
計	2,203	1,839	▲16.5%

《契約実行高》

- ・賃貸・割賦事業は、期首未検収残の減少による影響や小口リース縮小の影響、競合激化等により前年同期比**18.5%減**
- ・営業貸付事業は、診療報酬債権の減少や一括ファクタリング減少の影響で前年同期比**15.1%減**

《成約高》

- ・官公庁入札における競争激化等により前年同期比**16.5%減**

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

5) 賃貸事業の営業状況(連結)

業種別契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第 2 四 半 期	2012/3期 第 2 四 半 期	構 成 比
官公庁	246	236	48.6%
民需	201	168	34.6%
サービス業	54	48	9.8%
流通業	65	46	9.5%
製造業	42	36	7.3%
その他	39	39	8.0%
計	446	405	83.3%
小口リース	137	81	16.7%
合計	583	486	100.0%

【参考】業種別成約高

(単位: 億円)

	2011/3期 第 2 四 半 期	2012/3期 第 2 四 半 期	構 成 比
官公庁	544	474	65.5%
民需	197	168	23.3%
サービス業	59	36	4.9%
流通業	60	48	6.7%
製造業	36	36	5.0%
その他	43	48	6.6%
計	742	642	88.8%
小口リース	137	81	11.2%
合計	878	724	100.0%

機種別賃貸事業契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第 2 四 半 期	2012/3期 第 2 四 半 期	構 成 比
情報通信機器	383	339	69.8%
電子計算機及び関連装置	186	150	30.8%
ソフトウェア	178	152	31.2%
通信機器及び関連装置	20	38	7.8%
事務用機器	16	18	3.7%
その他機器	47	48	9.8%
計	446	405	83.3%
小口リース	137	81	16.7%
合計	583	486	100.0%

- ・契約実行高(除く小口)前年同期比は**9.4%減**
- ・小口リース新規受注停止の影響は、前年同期比**56億円減**
- ・成約高(除く小口)前年同期比は**13.4%減**

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

6) 営業貸付事業の営業状況(連結) (一括ファクタリングを除く)

契約形態別契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第2四半期	2012/3期 第2四半期	構成比
立替・APF・割賦バック	17	8	1.7%
個別ファクタリング	163	136	27.8%
診療報酬債権流動化	135	106	21.7%
企業融資	223	179	36.5%
その他	66	60	12.3%
営業貸付事業 計	603	490	100.0%

業種別契約実行高

(単位: 億円)

	2011/3期 第2四半期	2012/3期 第2四半期	構成比
官公庁	19	10	2.0%
民需	584	480	98.0%
サービス業	156	142	29.1%
流通業	34	46	9.4%
製造業	152	162	33.1%
金融業・保険業	69	20	4.1%
不動産業	92	50	10.1%
その他	82	60	12.2%
計	603	490	100.0%

- ・一括ファクタリングを除いた営業貸付事業では診療報酬債権流動化の取扱減少等により前年同期比**18.8%減(114億円減)**
- ・注力している企業融資は前年度にあった大口案件を除けばほぼ横ばいで推移
- ・営業フロント体制の見直しを行い、プロスペクトを積み上げている

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

7) リサ事業の営業状況(売上総利益) 第2四半期(1-6月)

(単位:億円)

リ サ 事 業		プリンシパル 投資業務	ファンド業務	インベストメント バンキング業務	
	企業	企業投資 8	ソリューション・ ファンド 7	コーポレート・ アドバイザー 1	16
	債権	債権投資 6	地域企業 再生ファンド 1	債権 アドバイザー -0	7
	不動産	不動産投資 7	不動産 共同投資 5	不動産 アドバイザー 1	13
		21	13	1	35(売上総利益計)

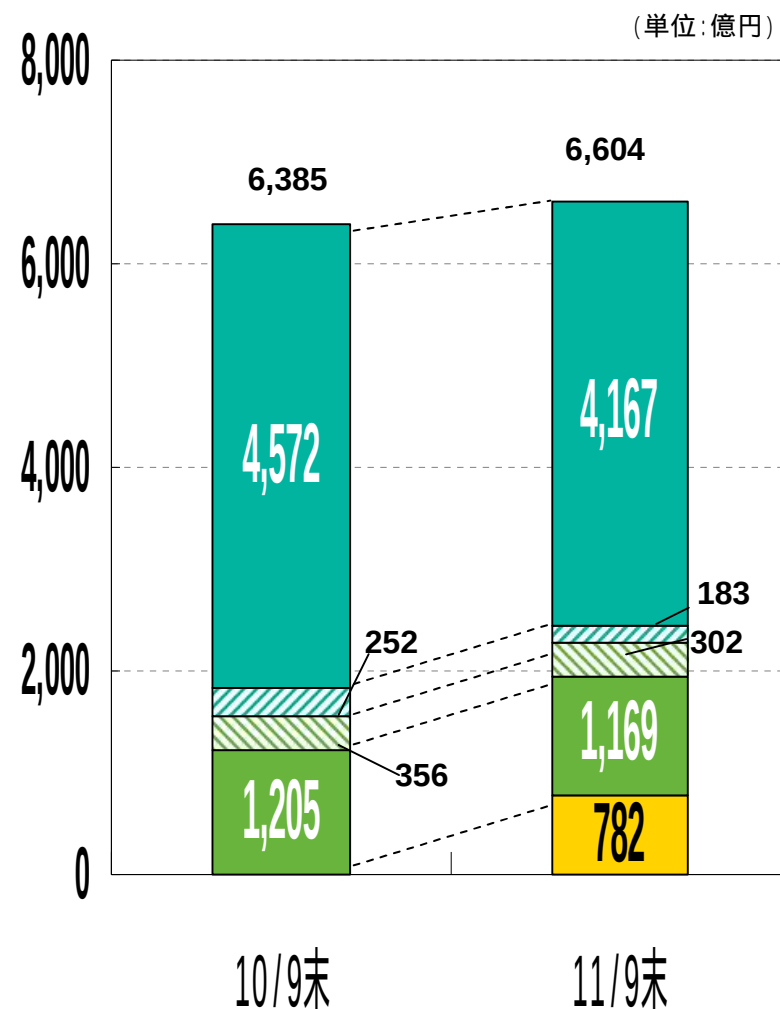
▲ 10 (連結調整)

25 (リサ事業
売上総利益)

- ・売上総利益は、リサ単体では35億円、連結後は25億円を確保
- ・既存ポートフォリオの見直しを推進中

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

8) 営業資産残高の状況(連結)



<<営業資産残高>>

・全体では218億円増加、前年同期末比3.4%増

・貸貸・割賦事業は契約実行高の減少の影響から、前年同期末比9.8%減

・営業貸付は、企業融資の減少等により前年同期末比5.8%減

・【リサ事業】782億円の内訳

営業投資有価証券 124

買取債権 160

投資有価証券 92

販売用不動産 406

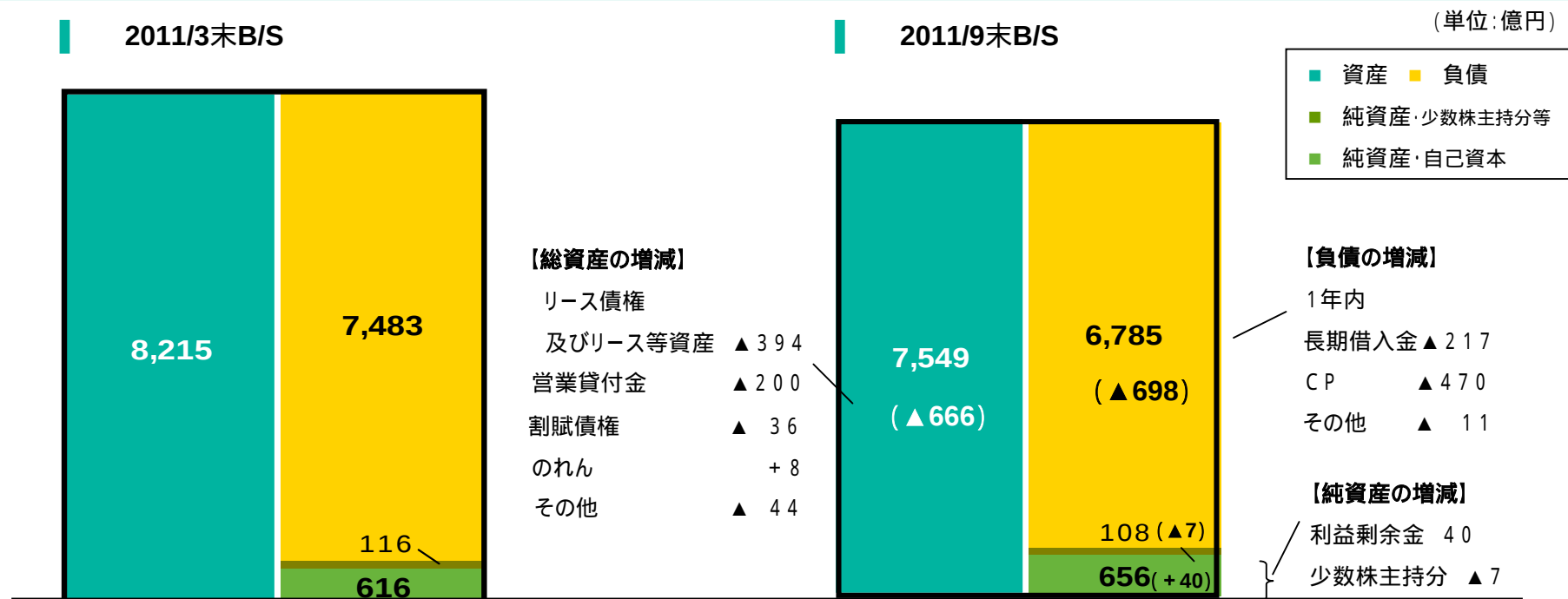
1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

9) 貸借対照表の状況(連結)

-総資産...前期末比**666億円減**の**7,549億円**

-負債.....前期末比**698億円減**の**6,785億円**

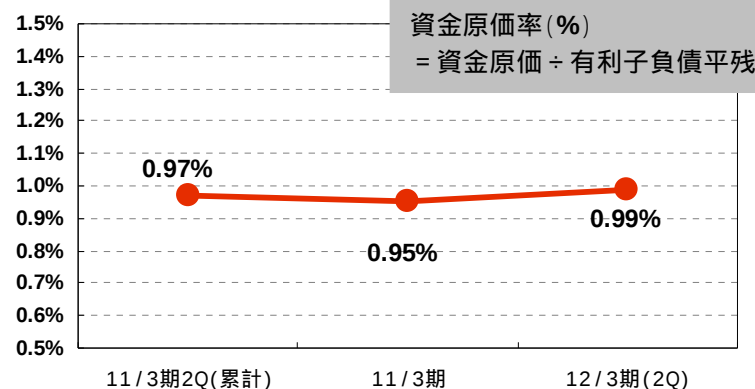
-純資産...自己資本 **40億円増**、自己資本比率 **7.5%→8.7%**



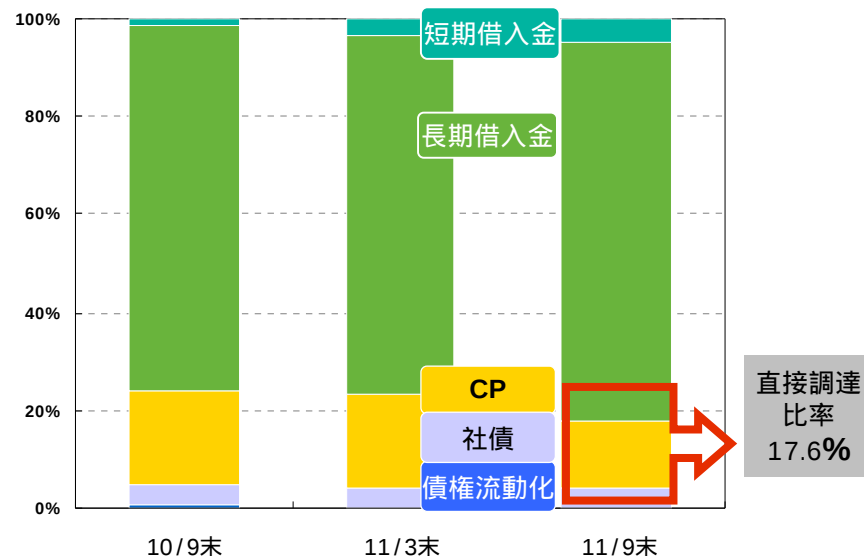
1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

10) 資金調達の状況(連結)

資金原価率



有利子負債構成比



有利子負債残高

(単位: 億円)

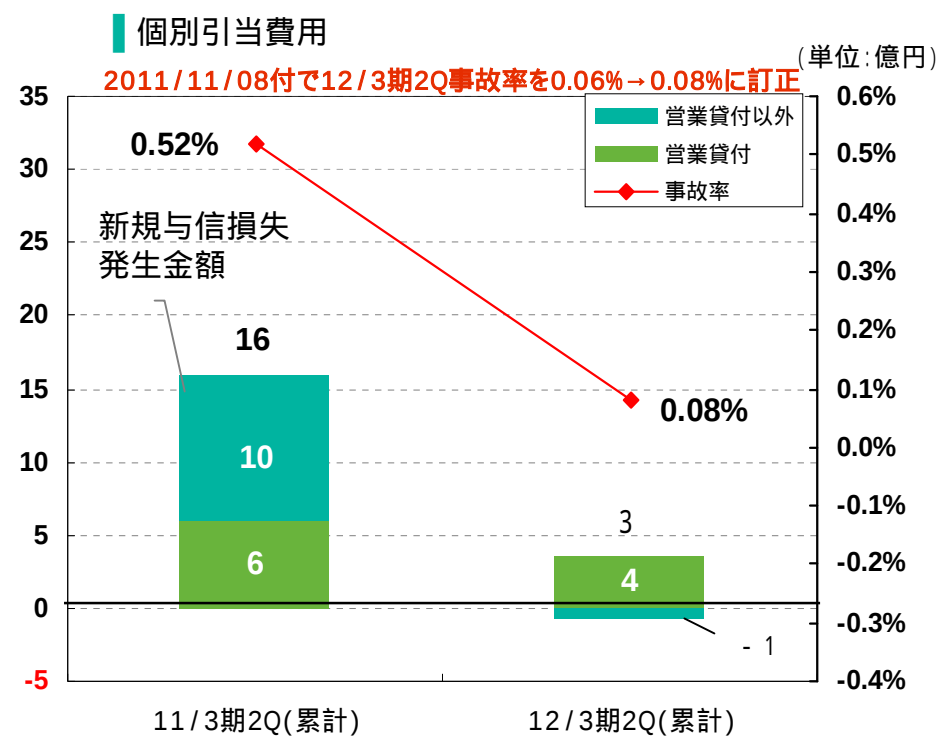
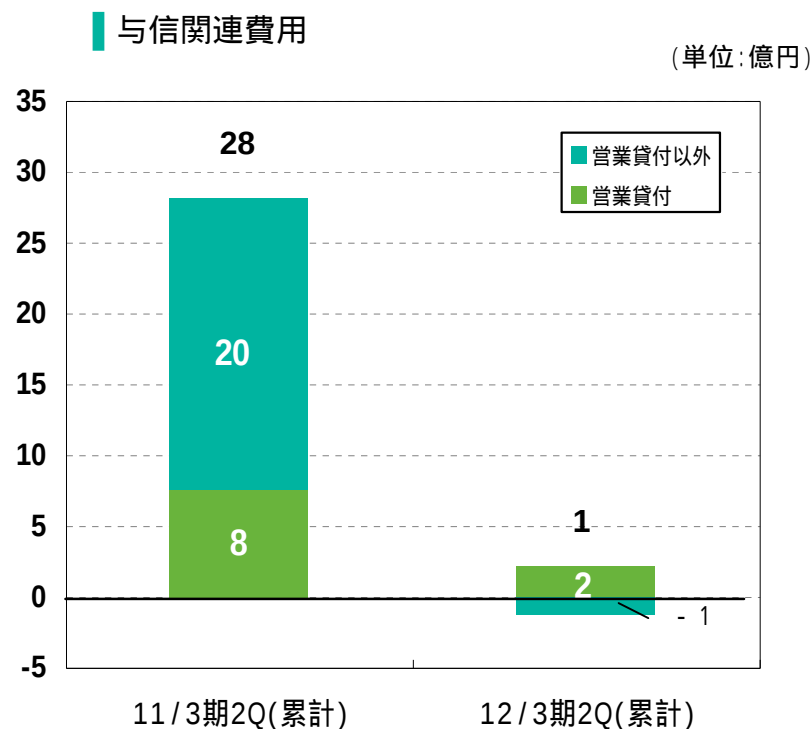
	2011/3期末		2012/3期		増減
		構成比	第2四半期末	構成比	
短期借入金	250	3.6%	294	4.6%	43
長期借入金	5,104	73.5%	4,917	77.8%	▲188
CP	1,330	19.1%	860	13.6%	▲470
社債	250	3.6%	250	4.0%	0
債権流動化	15	0.2%	-	0.0%	▲15
計	6,949	100.0%	6,320	100.0%	▲629

- 連結後の資金原価率は0.99%
リサ連結により前年同期末比0.02%増
- 当社単独ベースでは0.89%と0.08%改善
CP・マーケットレートの低下、有利子負債平残の減少等による。
- 直接調達比率は主にCP残高の減少により
低下傾向にある
(2011/3末 22.9% → 2011/9末 17.6%)

1. 2012年3月期 第2四半期実績報告

11) 与信関連費用(連結)

- 与信関連費用は27億円と改善
- 大型の倒産がなく個別引当費用も13億円改善
- 個別引当は、一部個別案件の状況改善により戻し入れを行った



事故率 (%)

= 新規倒産損失発生金額 ÷ (営業資産平残 + 破産更生債権平残)

新規倒産損失発生金額 = 破産更生債権 + 懸念債権

2. 2012年3月期計画

1) 連結業績予想

連結業績予想

(単位: 億円)

	実績		予想	
	2011/3期 通期 (a)	2012/3期 第 2 四半期 (累計)	2012/3期 通期 (b)	前年増減 (b/a)
売上高	2,276	1,126	2,400	5.4%
営業利益	91	73	100	9.6%
経常利益	90	73	100	11.6%
四半期純利益	37	44	50	34.4%
1株当たり純利益 (円)	172円78銭	206円26銭	232円20銭	-

1株当たり配当金

	中間期	期末	年間
2012/3期予想	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2011/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

3. 「中期計画2011」の実現に向けて

「中期計画2011」の骨子と当面の強化ポイント

中期的に目指す姿

「情報・通信技術が拓く新しい社会資本・インフラの実現を先導する企業」

中期計画2011の基本方針

- キャピタルソリューションの拡充、実践
- NECグループとの関係のさらなる強化
- 新たな事業の創出

不透明な事業環境、金融環境を踏まえ、
BSの圧縮とフロービジネスの拡充を推進

当面の強化ポイント

- ICTに関連したフロービジネスの早期立ち上げ
- リサと連携したIBアドバイザリー事業の強化
- 社会資本・インフラ関連事業の取り組み強化

4. 当面の強化ポイントに対する取り組み

ICTに関連したフロービジネスの早期立ち上げ

NECと共同で業務クラウドソリューションの事業化

➤ SaaS型サービスの拡充

従来から取り組んでいるBPO型クラウドサービスの強化

➤ モバイルコンピューティング環境におけるセキュリティサービスマネジメントの拡充

リサと連携したIBアドバイザリー事業の強化

リサと連携したIBアドバイザリー事業の強化

➤ 事業法人に対しアドバイザリー等の幅広いソリューションメニューの提供

【取り組み紹介】ICTに関連したフロービジネスの早期立ち上げ(1/2)

間接材購買クラウドサービスの立上げ(来年度サービスイン予定)

NECグループが推進するクラウド戦略を、さまざまな切り口から支援、
ビジネスチャンスを拡大
→ 少額で煩雑な間接材購買事務作業を、ワンストップで代行。

サービスイメージ図



【取り組み紹介】ICTに関連したフロービジネスの早期立ち上げ(2/2)

BPO型クラウドサービスの拡充

BPO型クラウドサービス「PITマネージドサービス」

ICT資産におけるライフサイクルマネジメントをより効率的に行うため、最先端の技術を活用し、ICT資産の「調達、展開から運用管理・資産処分」に至るまでの各種サービスをワンストップにてご提供

統合型ライフサイクルマネジメントサービス



Solution事例

柔軟なサービス設計により最適なソリューションをご提供



PIT Remote Solution

ICT機器やソフトウェアなどの運用管理業務をリモートで支援



PIT Mobile Solution

スマートフォンやモバイルPC活用におけるお客様の課題を解決



PIT Security Solution

情報漏洩リスク対策

IBアドバイザー関連メニューの拡充

顧客企業の経営課題に対して幅広い領域でソリューション提供

■ リサとの連携

➢ アセットマネジメント、CRE、デューデリジェンス、事業承継etc.

■ 他社との連携によるトプラインの創出支援、並びに販管費の削減支援

社会資本・インフラ関連事業の取り組み強化

ICTのTCOを最適化するソリューションの推進

➢ 既存のファイナンスリースからオペレーティングリースの取り組みへ
社会資本・インフラへの構築を推進

➢ PFI、PPP事業への主体的な参画

➢ データセンター事業への参画

➢ リサを活用した社会インフラの構築推進

新エネルギー分野・水ビジネスなどエコ分野への取り組みを推進

➢ 日本政策投資銀行との取り組み強化

➢ 水ビジネスにおけるベンダーファイナンスプログラムの更なる深耕

5. リサ事業における選択と集中

■ これまでの収益構造

キャピタルゲイン中心
= 損益のボラティリティ大

■ これから目指す収益構造

不動産事業からの撤退
インカムゲイン中心
損益の安定化へ

◆ インカムゲイン中心のビジネスモデルへの変換を推進し
損益の安定化を促進。

販売用不動産の売却推進

ミドルリスク・ミドルリターン案件をターゲットに底堅い買取債権事業を推進
ファンド事業等の強化

➤ コーポレートファンド2号のキャピタルコール完了(7月末)

ファイナンス営業機能のリサへの一部移管を計画

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もあります。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いいたします。

Empowered by Innovation

NEC